

漢方診断学分野

Division of Kampo Diagnostics

教授	柴原 直利	Professor	Naotoshi Shibahara (M.D., Ph.D.)
准教授	小泉 桂一	Associate Professor	Keiichi Koizumi (Ph.D.)
助教	条 美智子	Assistant Professor	Michiko Jo (Ph.D.)
技術補佐員	木村 真梨	Assistant	Mari Kimura (Ph.D.)
技術補佐員	犬寫 明子	Assistant	Akiko Inujima
技術補佐員	岩白 円	Assistant	Madoka Iwashiro

◇研究目的

漢方薬は様々な疾患の治療において幅広く使用されており、慢性あるいは難治性疾患における漢方薬による治療及び進展予防効果への期待も大きい。その一方で、漢方医学は経験的であるとの批判もあり、臨床研究や基礎研究を通じた科学的エビデンスの蓄積が求められている。エビデンスの蓄積には、漢方医学的概念や証（適応病態）の客観化するとともに、漢方薬の薬理効果や作用機序を解明することにより、漢方医薬学を普遍的なものとする必要である。そこで、本分野は、漢方医学的病態や漢方薬の治療効果に関する臨床研究と、実際の臨床での漢方薬使用状況を考慮した基礎研究により、新たな漢方医学を確立することを目指している。

◇研究概要

I) 漢方方剤・生薬の薬理効果の基礎的研究

- 1) 浮腫・慢性腎臓病・糖尿病に対する漢方方剤・生薬の効果
- 2) 漢方方剤・生薬の粘膜免疫活性効果
- 3) 漢方方剤・生薬の粘膜ワクチンアジュバント効果
- 5) 漢方方剤・生薬成分の生体内動態解析
- 6) 漢方方剤の去加方に起因する効果の変化
- 7) 生薬の品質による効果発現の変化
- 8) 皮膚保湿性・保温性に対する効果

II) 証の科学的翻訳に関する臨床的研究

- 1) 漢方医学的病態の数値化
- 2) 自律神経系と漢方医学的病態との関連性
- 3) ストレス対応漢方方剤の薬理効果
- 4) 各種疾患に対する臨床効果

III) 漢方医薬学研修に関する研究

- 1) 教育効果に関する検討
- 2) 漢方医薬学研修プログラムの開発

◇原著論文

- 1) Andoh T., Kitamura R., Fushimi H., Komatsu K., Shibahara N., Kuraishi Y.: Effects of goshajinkigan, hachimijogan, and rokumigan on mechanical allodynia induced by Paclitaxel in

- mice. *J Tradit Complement Med.*, 4: 293-297, 2014.
- 2) Watari H., Shigyo M., Tanabe N., Tohda M., Cho K. H., Kyung P. S., Jung W. S., Shimada Y., Shibahara N., Kuboyama T., Tohda C.: Comparing the Effects of Kamikihito in Japan and Kami-Guibi-Tang in Korea on Memory Enhancement: Working Towards the Development of a Global Study. *Phytother Res.*, doi: 10.1002/ptr.5250, 2014.
 - 3) Kee J. Y., Ito A., Hojo S., Hashimoto I., Igarashi Y., Tsuneyama K., Tsukada K., Irimura T., Shibahara N., Takasaki I., Inujima A., Nakayama T., Yoshie O., Sakurai H., Saiki I., Koizumi K.: CXCL16 suppresses liver metastasis of colorectal cancer by promoting TNF- α -induced apoptosis by tumor-associated macrophages. *BMC Cancer*, 14: 949, 2014.
 - 4) Kee J. Y., Inujima A., Andoh T., Tanaka K., Li F., Kuraishi Y., Sakurai H., Shibahara N., Saiki I., Koizumi K.: Inhibitory effect of Moutan Cortex aqueous fraction on mast cell-mediated allergic inflammation. *J Nat Med.*, doi: 10.1007/s11418-014-0880-6, 2014..
 - 5) 王子剛, 並木隆雄, 三谷和男, 植田圭吾, 中口俊哉, 貝沼茂三郎, 柴原直利, 三瀨忠道, 小田口浩, 渡辺賢治, 藤井泰志, 喜多敏明, 小暮敏明, 小川恵子, 田原英一, 萩原圭祐, 矢久保修嗣, 南澤潔, 村松慎一, 和辻直, 花輪壽彦: 多施設での統一した舌診臨床診断記載の作成を目的とした日本の舌診文献調査. *日東医誌*, 65: 224-230, 2014.

◇総説

- 1) 条美智子, 柴原直利: 【漢方薬理学:漢方薬適用における利益性】5/6腎摘ラットにおける尿濃縮力とアクアポリン発現に対する五苓散の影響. *日薬理誌.*, 143: 65-68, 2014.

◇症例報告

- 1) 引網宏彰, 野上達也, 藤本誠, 柴原直利, 嶋田豊: 肺炎を繰り返す黄色爪症候群の漢方治療経験. *漢方の臨床*, 61: 443-448, 2014.
- 2) 野上達也, 柴原直利, 藤本誠, 渡り英俊, 海老澤茂, 三澤広貴, 北原英幸, 荒井紗由梨, 引網宏彰, 嶋田豊: 急性呼吸促進症候群とショックを伴ったMRSA腸炎疑診例に対する漢方治療経験. *日東医誌*, 65: 94-99, 2014.
- 3) 引網宏彰, 三澤広貴, 北原英幸, 海老澤茂, 渡り英俊, 野上達也, 藤本誠, 柴原直利, 嶋田豊: 緑膿菌, アスペルギルス感染を伴う関節リウマチに漢方治療が有効であった1例. *漢方の臨床*, 61: 1099-1104, 2014.
- 4) 北原英幸, 野上達也, 三澤広貴, 荒井紗由梨, 海老澤茂, 渡り英俊, 藤本誠, 藤永洋, 引網宏彰, 高橋宏三, 柴原直利, 嶋田豊: 自己免疫性膵炎による閉塞性黄疸に茵陳蒿湯を使用した2症例. *日東医誌*, 65: 202-209, 2014.

◇学会報告 (*: 特別講演, シンポジウム, ワークショップ等)

- 1) Shibahara N., Jo M., Kimura M., Kaneko M., Jono K., Nogami T., Fujimoto M., Hikiami H., Shimada Y.: Effects of different ratios of Paeoniae radix in keishito on small intestinal transit rate and marker compounds. 17th International Congress of Oriental Medicine, 2014, 11, 1-3, Taipei.
- 2) Kimura M., Hikiami H., Yoshida T., Ma Y., Jo M., Shimada Y., Shibahara N.: Effect of changed amount of Astragali Radix in kigikenchuto on acute wound rat model. 17th International Congress of Oriental Medicine, 2014, 11, 1-3, Taipei.
- 3) Jo M., Fujimoto T., Kimura M., Shibahara N.: Effect of goreisan on Urinary Concentrating Ability and Expression of Aquaporin 2 in 5/6 Nephrectomized Rats. 17th International Congress of Oriental Medicine, 2014, 11, 1-3, Taipei.
- 4) 渥美さやか, 牧野利明, 伊藤美千穂, 能勢充彦, 鄭美和, 三上正利, 柴原直利, 花輪壽彦, 一般漢方製剤委員会, 袴塚高志, 合田幸広: 一般用漢方製剤の安全性確保に関する研究 (3): 「安全に使うための漢方処方確認票」の実用化に向けたアンケート調査. 日本薬学会第134年会, 2014, 5, 27-30, 熊本.

- 5) 柴原直利：プラセンタの伝統医学的効能。シンポジウム：プラセンタ（胎盤および胎盤周囲組織）はアンチエイジングにも再生医療にも有効。第14回日本抗加齢学会総会，2014，6，7-8，大阪。
- 6) 柴原直利：指導医講習会。第65回日本東洋医学会学術総会，2014，6，27-29，東京。
- 7) 柴原直利：論文を投稿しよう2014 Traditional & Kampo Medicine (TKM)の発刊について。第65回日本東洋医学会学術総会，2014，6，27-29，東京。
- 8) 三澤広貴，野上達也，藤本誠，引網宏彰，北原英幸，荒井紗由梨，渡り英俊，海老澤茂，柴原直利，嶋田豊：富山大学附属病院和漢診療科における漢方薬による薬剤性間質性肺炎防止の取り組み。第65回日本東洋医学会学術総会，2014，6，27-29，東京。
- 9) 柴原直利，条美智子，野上達也，藤本誠，引網宏彰，嶋田豊：桂枝茯苓丸・加味逍遙散・当帰芍薬散有効例における舌診所見の検討。第65回日本東洋医学会学術総会，2014，6，27-29，東京。
- 10) 野上達也，北原英幸，三澤広貴，荒井紗由梨，渡り英俊，海老澤茂，藤本誠，引網宏彰，柴原直利，嶋田豊：富山大学附属病院和漢診療科における漢方薬による薬剤性間質性肺炎の検討。第65回日本東洋医学会学術総会，2014，6，27-29，東京。
- 11) 藤本誠，野上達也，渡り英俊，海老澤茂，北原英幸，三澤広貴，引網宏彰，柴原直利，嶋田豊：腹部症状を目標に追加した方剤が有効であった咽喉頭異常感症の二症例。第65回日本東洋医学会学術総会，2014，6，27-29，東京。
- 12) 北原英幸，引網宏彰，荒井紗由梨，三澤広貴，海老澤茂，渡り英俊，野上達也，藤本誠，柴原直利，嶋田豊：甘草附子湯が奏効した反射性交感神経性ジストロフィーの1例。第65回日本東洋医学会学術総会，2014，6，27-29，東京。
- 13) 渥美さやか，牧野利明，伊藤美千穂，能勢充彦，鄭美和，三上正利，柴原直利，花輪壽彦，袴塚高志，合田幸広，一般用漢方製剤委員会：一般用漢方製剤の安全性確保に関する研究「安全に使うための漢方処方確認票」の実用化に向けたアンケート調査。第65回日本東洋医学会学術総会，2014，6，27-29，東京。
- 14) 柴原直利，高木優，亀井貴志，渥美卓也，久志田郁，条美智子：黄連含有方剤がDPP-IV阻害活性に与える影響に関する研究。第31回和漢医薬学会大会，2014，8，30-31，千葉。
- 15) 木村真梨，三島怜，条美智子，野上達也，藤本誠，引網宏彰，嶋田豊，柴原直利：糖尿病モデルにおける活性型血小板・血小板マイクロパーティクルに対する駆瘀血薬の効果。第31回和漢医薬学会大会，2014，8，30-31，千葉。
- 16) 条美智子，渥美卓也，久志田郁，入矢美沙，柴原直利：ピオグリタゾン誘発末梢性浮腫に対する五苓散の効果に関する基礎的検討（第4報）。第31回和漢医薬学会大会，2014，8，30-31，千葉。
- 17) 渥美卓也，高木優，条美智子，柴原直利：越婢加朮湯の石膏加減による煎液中カルシウム量変化の検討。第31回和漢医薬学会大会，2014，8，30-31，千葉。
- 18) 久志田郁，渥美卓也，久志田郁，条美智子，柴原直利：漢方方剤煎じ液中のカリウム量の測定。第31回和漢医薬学会大会，2014，8，30-31，千葉。
- 19) 関根麻理子，若杉安希乃，小田口浩，村松慎一，並木隆雄，新井信，嶋田豊，柴原直利，三瀧忠道，花輪壽彦：COI-T関連「漢方診療標準化プロジェクト」自他覚所見用紙の標準化に向けて。第31回和漢医薬学会大会，2014，8，30-31，千葉。
- 20) 姫野榮志，条美智子，柴原直利：漢方煎じ薬をパック包装にした際の，成分抽出量に与える影響（第2報）。第47回日本薬剤師会学術大会，2014，10，12-13，山形。
- 21) 五十嵐喜子，戸辺一之，小泉桂一：脂肪組織の形成に対するケモカインCXCL16の関与。第35回日本肥満学会，2014，10，24-25，宮崎。
- 22) 木村真梨，三島怜，柴原直利，津田昌樹：掌蹠多汗症に対して二間，労宮，間使穴が有効であった1症例。第42回日本伝統鍼灸学会，2014，10，25-26，香川。
- 23) 引網宏彰，野上達也，藤本誠，三澤広貴，北原英幸，海老澤茂，渡り英俊，柴原直利，嶋田豊：アスペルガー症候群のイライラ感に黄連湯が奏効した一例。第40回日本東洋医学会北陸支部例会，2014，10，19，金沢。

- 24) 野上達也, 引網宏彰, 藤本誠, 柴原直利, 嶋田豊: 加味帰脾湯エキスが奏効した高齢者の音声チック(遅発性Tourette症候群)の一例. 第40回日本東洋医学会北陸支部例会, 2014, 10, 19, 金沢.

◇その他

- 1) 柴原直利: 呼吸器疾患と漢方薬. 富山のくすし 平成26年度第9回漢方医学と生薬講座, 2014, 6, 18, 富山.
- 2) 柴原直利: 症例検討. 第49回富山漢方談話会, 2014, 1, 21, 富山.
- 3) 柴原直利: 診療の幅が広がる漢方概論～気血水～. 第2回やさしい和漢診療学講座, 2014, 1, 25, 大津.
- 4) 柴原直利: 意外と面白い! 漢方治療の考え方, 私のお勧め処方ベスト10, 疾患別アプローチ 風邪・インフルエンザ, 疾患別アプローチ 冷えと痛み. すぐに役立つ! 漢方セミナー入門編, 2014, 1, 26, 京都.
- 5) 柴原直利: 脳・脊髄疾患と漢方薬. 富山のくすし 平成26年度第10回漢方医学と生薬講座, 2014, 2, 15, 富山.
- 6) 柴原直利: 葛根湯・麦門冬湯・大建中湯・芍薬甘草湯・抑肝散・加味逍遙散の関連処方について, 牛車腎気丸・防風通聖散・六君子湯・補中益気湯・十全大補湯の関連処方について. Second Step 漢方 一困った時の次の一手一, 2014, 2, 16, 京都.
- 7) 柴原直利, 条美智子: 症例検討. 第16回漢方診断研究会, 2014, 2, 20, 富山.
- 8) 柴原直利: 看護に活かせる漢方医学の考え方①. 第3回看護学系漢方教育研究会, 2014, 2, 21, 京都.
- 9) 柴原直利: 漢方薬の使い方 症例提示から考えるFirst choiceと鑑別処方. 第3回やさしい和漢診療学講座, 2014, 3, 8, 大津.
- 10) 柴原直利: 症例検討. 第50回富山漢方談話会, 2014, 3, 18, 富山.
- 11) 柴原直利: 陰陽虚実・六病位. 富山のくすし 平成26年度第1回漢方医学と生薬講座, 2014, 4, 12, 富山.
- 12) 柴原直利, 条美智子: 症例検討. 第17回漢方診断研究会, 2014, 4, 17, 富山.
- 13) 柴原直利: 気血水と五臓. 富山のくすし 平成26年度第2回漢方医学と生薬講座, 2014, 5, 10, 富山.
- 14) 柴原直利: 四診について. 富山大学楮鞭会, 2014, 5, 14, 富山.
- 15) 柴原直利: 気血水診断. 平成26年度富山市民大学 生活医学薬学を学ぶ, 2014, 5, 16, 富山.
- 16) 柴原直利: 症例検討. 第51回富山漢方談話会, 2014, 5, 20, 富山.
- 17) 柴原直利: 生活習慣病と漢方. 平成26年度富山市民大学 生活医学薬学を学ぶ, 2014, 6, 13, 富山.
- 18) 柴原直利, 条美智子: 症例検討. 第18回漢方診断研究会, 2014, 6, 19, 富山.
- 19) 柴原直利: 漢方医学の診察方法と漢方薬の成り立ち. 富山のくすし 平成26年度第3回漢方医学と生薬講座, 2014, 6, 21, 富山.
- 20) 木村真梨: 鍼灸治療の実際. 富山のくすし 平成26年度第3回漢方医学と生薬講座, 2014, 6, 21, 富山.
- 21) 柴原直利, 日本東洋医学会編集委員会: 論文を書こう2014 Traditional & Kampo Medicine (TKM)の発刊について. 第65回日本東洋医学会学術総会, 2014, 6, 27-29, 東京.
- 22) 柴原直利, 日本東洋医学会専門医制度委員会: 指導医講習会 一漢方専門医のこれから一. 第65回日本東洋医学会学術総会, 2014, 6, 27-29, 東京.
- 23) 柴原直利: 漢方医学の臨床診断. 富山県健康セミナー&第4回富山のくすし市民講座夏期セミナー, 2014, 7, 5, 富山.
- 24) 柴原直利: 漢方概論(処方選択の基本), 倦怠感・夏ばてに関する漢方処方の選択術, 冷え症に関する漢方処方の選択術. 富山漢方医学入門セミナー, 2014, 7, 12, 富山.

- 25) 柴原直利：症例検討．第52回富山漢方談話会，2014, 7, 15, 富山．
- 26) 柴原直利：耳鼻咽喉科疾患と漢方薬．富山のくすし 平成26年度第4回漢方医学と生薬講座，2014, 7, 26, 富山．
- 27) 柴原直利：健康と漢方医学．平成26年度献血運動推進富山県大会，2014, 7, 27, 富山．
- 28) 柴原直利：薬都富山の歴史と漢方．化学工学会マイクロ化学プロセス分科会，2014, 8, 2, 富山．
- 29) 柴原直利：漢方医学の基本的概念．第19回富山大学和漢医薬学総合研究所夏期セミナー，2014, 8, 20-22, 富山．
- 30) 柴原直利，渡り英俊，条美智子：気血水診断法．第19回富山大学和漢医薬学総合研究所夏期セミナー，2014, 8, 20-22, 富山．
- 31) 柴原直利，条美智子：症例検討．第19回漢方診断研究会，2014, 8, 21, 富山．
- 32) 柴原直利：看護に活かせる漢方医学の診察法．第4回看護学系漢方教育研究会，2014, 8, 22, 京都．
- 33) 柴原直利：漢方医学概論と頻用方剤．登録販売者生涯学習研修A講座，2014, 8, 26, 富山．
- 34) 柴原直利：First Step 漢方－これだけは知っておきたいお勧め処方－．第2回京街道漢方研究会学術講演会，2014, 8, 28, 枚方．
- 35) 柴原直利：皮膚疾患と漢方薬．富山のくすし 平成26年度第5回漢方医学と生薬講座，2014, 9, 6, 富山．
- 36) 柴原直利：症例検討．第53回富山漢方談話会，2014, 9, 9, 富山．
- 37) Shibahara N.: Recent knowledge on Paeoniae Radix. The 20th Symposium on future trends in drug discovery -Strategies for Drug Development using Natural Products-. 2014, 10, 6, Seoul.
- 38) 柴原直利，条美智子：症例検討．第20回漢方診断研究会，2014, 10, 16, 富山．
- 39) 柴原直利：生活習慣病と漢方薬．富山のくすし 平成26年度第6回漢方医学と生薬講座，2014, 10, 18, 富山．
- 40) 柴原直利：更年期障害の漢方治療．富山のくすし 平成26年度第7回漢方医学と生薬講座，2014, 11, 15, 富山．
- 41) 柴原直利：症例検討．第54回富山漢方談話会，2014, 11, 18, 富山．
- 42) 北原英幸，引網宏彰，野上達也，藤本誠，三澤広貴，海老澤茂，渡り英俊，柴原直利，嶋田豊：アスペルガー症候群のイライラ感に黄連湯が奏効した一例．第18回和漢診療学シンポジウム，2014, 11, 29, 富山．
- 43) 野上達也，引網宏彰，藤本誠，柴原直利，嶋田豊：加味帰脾湯エキスが奏効した高齢者の音声チック(遅発性Tourette症候群)の一例．第18回和漢診療学シンポジウム，2014, 11, 29, 富山．
- 44) 柴原直利：これだけは知っておきたい漢方処方，風邪・アレルギーに漢方を使ってみよう，冷え・不定愁訴に漢方を使ってみよう．漢方入門セミナー in さいたま，2014, 11, 30, 大宮．
- 45) 柴原直利：呼吸器疾患の漢方治療．富山のくすし 平成26年度第8回漢方医学と生薬講座，2014, 12, 6, 富山．
- 46) 柴原直利：富山大学和漢医薬学総合研究所について．WAKANKEN/NEKKEN JOINT SEMINAR 富山大学和漢医薬学総合研究所・長崎大学熱帯医学研究所第4回交流セミナー．2014, 12, 8, 富山．
- 47) Shibahara N.: Institute of Natural Medicine, University of Toyama. The 2nd Joint Symposium between NPRI, Seoul National University and INM, University of Toyama, 2014, 12, 10, Seoul.
- 48) Koizumi K.: Novel Evaluation system by using TR-LE cells for lymphangiogenesis in vitro. The 2nd Joint Symposium between NPRI, Seoul National University and INM, University of Toyama, 2014, 12, 10, Seoul.
- 49) 柴原直利：風邪・冷え症の漢方治療．登録販売者生涯学習研修A講座，2014, 12, 16, 富山．
- 50) 柴原直利，条美智子：症例検討．第21回漢方診断研究会，2014, 12, 18, 富山．

◇共同研究

学内

- 1) 嶋田豊（富山大学医学薬学研究部（医学）和漢診療学講座教授）、「漢方医学の臨床研修プログラムの開発」, 1999, 4～
- 2) 嶋田豊（富山大学医学薬学研究部（医学）和漢診療学講座教授）, 藤本誠（富山大学医学薬学研究部（医学）和漢診療学講座講師）, 常山幸一（富山大学医学薬学研究部（医学）病理診断学准教授）, 「肝・腎線維化に対する桂枝茯苓丸の有効性に関する薬理学的研究」, 2009, 2～
- 3) 引網宏彰（富山大学附属病院和漢診療科講師）, 吉田淑子（富山大学医学薬学研究部（医学）再生医学講座准教授）, 「褥瘡に対する新規治療薬剤の開発」, 2009, 4～
- 4) 小松かつ子（富山大学和漢医薬学総合研究所生薬資源科学分野教授）, 朱姝（富山大学和漢医薬学総合研究所生薬資源科学分野助教）, 「富山県ブランド芍薬」の基盤・臨床研究, 2014, 4, 1～
- 5) 高本考一（富山大学医学薬学研究部神経・整復学講座助教）, 「急性・亜急性期頸部痛・腰痛に対する物理・理学療法確立に関する臨床的研究(急性・亜急性期頸部・腰部痛に対するトリガーポイント圧迫治療法の効果：ランダム化比較試験)」, 2009, 11, 9～
- 6) 高本考一（富山大学医学薬学研究部神経・整復学講座助教）, 「急性・亜急性期頸部・腰痛に対する物理・理学療法確立に関する臨床的研究(急性・亜急性期頸部・腰部痛に対する温熱療法及び寒冷療法とトリガーポイント徒手圧迫療法との併用治療効果の検討：ランダム化比較試験)」, 2013, 4, 1～

国内

- 1) 花輪壽彦（北里大学東洋医学総合研究所所長）, 小田口浩（北里大学東洋医学総合研究所副所長）, 三瀧忠道（島県立医科大学津医療センター漢方医学講座教授）, 並木隆雄（千葉大学大学院医学研究院和漢診療学講座准教授）, 新井信（東海大学医学部内科学系准教授）, 村松慎一（自治医科大学内科学講座神経内科学部門特命教授）, 嶋田豊（富山大学医学薬学研究部和漢診療学講座教授）, 「漢方標準化プロジェクト」, 2013, 2, 1～
- 2) 合田幸（国立医薬品食品衛生研究所薬品部/生薬部部長）, 袴塚高志（国立医薬品食品衛生研究所生薬部長）, 政田さやか（国立医薬品食品衛生研究所生薬部第二室）, 牧野利明（名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野教授）, 伊藤美千穂（京都大学大学院薬学研究科薬品資源学准教授）, 能勢充彦（名城大学薬学研究科薬学専攻教授）, 鄭美和（北里大学生命科学研究所和漢薬物学研究室特任助教）, 三上正利（ミカミ薬局）, 花輪壽彦（北里大学東洋医学総合研究所所長）, 「一般用医薬品における, 化学合成品等のリスク区分の見直しと漢方製剤の安全性確保に関する研究」, 2012, 4～
- 2) 並木隆雄（千葉大学大学院医学研究院和漢診療学准教授）, 中口俊哉（千葉大学工学部医療支援システム准教授）, 「顔色及び舌など粘膜色の定量的測定, 解析システム開発」, 2012, 4～
- 3) 平山謙二（長崎大学熱帯医学研究所教授）, 「漢方医学的病態認識「証」を基盤とした普遍的統合医学への展開」, 2012, 10～
- 4) 合原一幸（東京大学生産技術研究所教授）, 「数理モデルから紐解く漢方薬の複雑系動力学～「未病」の検出からの新たな創薬に向けて～」, 2013, 11～
- 5) 日本製薬工業株式会社：「牛黄清心元の作用機序に関する研究」, 2014, 9～
- 6) クラシエ製薬株式会社漢方研究所：「尿中カテコラミン測定による漢方処方有用性の薬理的検討」, 2014, 12～

◇非常勤講師

- 1) 柴原直利：富山大学医学薬学教育部（薬学），「東洋医学概論」，2014, 1, 9～1, 30, 2014, 10, 2～12, 18.
- 2) 条美智子：高岡市医師会看護専門学校，「微生物学」，2014, 4, 14～8. 5.
- 3) 条美智子：富山医療福祉専門学校看護学科，「微生物学」，2014, 4, 14～9, 19.
- 4) 柴原直利：富山大学医学薬学教育部，「和漢医薬学入門」，2013, 4, 18.
- 5) 柴原直利：富山大学医学薬学教育部（医学系）修士課程看護学専攻，「病態生理学」，2014, 7, 28.
- 6) 柴原直利：福井大学，「実践臨床病態学」，2014, 7, 28.
- 7) 柴原直利：富山福祉短期大学看護学科，「東洋医学」，2013, 9, 11～9, 25.
- 8) 条美智子：富山市立看護専門学校，「感染免疫学」，2014, 6, 26～11. 6.
- 9) 柴原直利：富山大学大学院医学薬学教育部（医学系）修士課程，「東洋医学概論」，2013, 12, 3.
- 10) 小泉桂一：富山病院附属看護学校，「栄養・生化学」，2014, 4, 11～7, 24.

◇研究費取得状況

- 1) 文部科学省科学研究費，基盤研究（C）（代表：柴原直利，継続）「活性型血小板を介した糖尿病細小血管症の進展抑制効果を有する生薬の探索」110万
- 2) 文部科学省科学研究費，萌芽研究（代表：小泉桂一，継続）「移植するだけでNASHを発症させるNKT細胞の発見，その機能解析と創薬への挑戦」150万
- 3) 文部科学省科学研究費，若手研究（B）（代表：条美智子，継続）「五苓散によるアクアポリン2発現調節機序及び末梢性浮腫改善機序の解明」90万
- 4) 重点配分経費教育研，合原一幸（東京大学）（分担：小泉桂一）「数理モデルから紐解く漢方薬の複雑系動力学～「未病」の検出からの新たな創薬に向けて～」100万
- 5) 富山県受託研究 和漢薬・バイオテクノロジー研究，「富山県ブランド芍薬」の基盤・臨床研究（代表：柴原直利，新規）「富山県産芍薬の品質評価に係る臨床研究」150万

◇研究室在籍者

1. 大学院前期2年：飯塚紘史
2. 薬学部薬学科6年：渥美卓也
3. 薬学部薬学科5年：久志田郁
4. 薬学部薬学科4年：入矢美沙，須崎美貴子
5. 薬学部薬学科3年：成田絢香，水野祐介